

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2019～2020年度クラブ目標

『共に手をつなごう
ロータリーのもとで』

会長 中目 公英
幹事 兼子 英聡



ロータリーは
世界をつなぐ

2019～2020年度国際ロータリーテーマ

第1606回例会

令和元年11月7日 (12:30～13:30)

○ソング

- 国歌 (君が代)
- 奉仕の理想

○スマイルBOX

●中目公英会長 (ダルライザーの和知健明さん、ようこそ白河西RCへ。映画のDVD化、おめでとうございます。ロータリー財団の金田昇委員長、卓話ありがとうございました。次年度の地区補助金獲得に向けて、更なるご協力をお願い致します。)

●永野文雄会員 (ゲストの和知健明様ようこそ。ダルライザーご苦労様です。ロータリー財団委員長金田バスト会長さん卓話ありがとうございます。)

●金田昇会員 (ダルライザー君、ようこそ！今日は財団委員長としてお話を聞いていただきました。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。中目会長、神職2級上昇進おめでとうございます。)

●横田俊郎会員 (誕生日のお祝いを頂きました。ありがとうございます。)

●鶴丸彰紀会員 (先月結婚記念日のお祝い及び先週届きました。おいしい新米を頂きました。ありがとうございます。また個人的なお知らせですが、先月「引越し」をして白河市昭和町の住所になりました。電話番号などは一切変わりません。宜しくお願い致します。)

●山田顕一郎会員 (結婚記念日のお祝いありがとうございます。まだまだ子育て先が長いですが頑張ります。)

●青木大会員 (10月25日、21回目の結婚記念日を迎えることができました。銀婚式、金婚式を迎えられる様に頑張ります。あ!! パーティー取ったのでスマイルします。)

▶第1606回例会出席状況 (R元年11月7日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	44名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	58名
Ⓒ ①の出席者数	27名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	1名
Ⓕ ②の出席者数	7名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓕ (メイクアップ補填後の出席会員数)	35名
Ⓗ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓕ)	51
Ⓘ = Ⓖ / Ⓗ × 100 (例会出席率)	68.63%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

中目公英会長

皆さん、こんにちは。11月第1回目の例会にご出席をいただきましてありがとうございます。月初めの例会は盛り沢山な内容でございますので、会長の時間は短くしたいと思っております。まず初めにお客様を紹介させていただきます。ダルライザーで仮の姿の和知健明さんです。この後、PRタイムということで一言ご挨拶を頂戴したいと思います。それから、皆さん方も既に新聞テレビ等々でご承知だと思いますが、首里城の正殿の火災という思わぬことが起こってしまいました。我がクラブは、沖縄コザロータリーと友好姉妹クラブになっております関係上、何かしないといけないんじゃないのかなと、あのニュースを見ながら思っておったところがございます。台風19号の災害等々のほうもありますが、首里城の火災に対して我がクラブとしてコザロータリーさんを通じて、沖縄のほうに何某ら義援金みたいなものを差し上げることを考えたほうがいいのではないかと、そのように思っておるところではございますが、その件につきましては理事会を通し、またシスター委員会等々を通しまして、決まった段階で正式な形で皆さん方にご紹介をさせていただきたいと思っております。この11月はロータリーというロータリー財団の月間になっております。プログラムの中で今日はロータリー財団委員会の金田昇委員長さんのほうから、財団につきまして詳しくお話をしていただくところであります。昨年の12月の年次総会以来、我がクラブはロータリー財団並びに米山に対する考え方がある程度固定化しまして、それぞれ各会員が五千円づつ普通寄付を出すと。さらに今年、私の年度、金田財団委員長のお計らいによりまして、10万円一口の篤志のほうはもう既に3人分協賛しておりますし、米山に関しましても居川委員長のお計らいで3人30万の篤志寄付を出しましたので、私の年度は取りあえず出すだけは全部で出したぞという形にはなっております。これから先は、私の年度ではなく次の吉野エレクトの年度で沢山協力した財団分を貰って大きい事業をしましょうということでございます。ますます、来年の吉野年度の人事構想が今活発になっているところがございますから、何回も申し上げますが声がかかった時には、皆、はい喜んででひとつそれぞれのお役を受けていただければと思います。簡単ではありますが今日の会長の話と代えさせていただきます。今日はどうぞよろしく願いいたします。

■幹事報告

兼子聡幹事

- 大船渡ロータリークラブ：御礼状
- ガバナー事務所：出版物ご案内
- 一般財団法人バギオ基金：バギオ日より

○ガバナー事務所：4クラブ合同事務所移転のお知らせ



■お客様の挨拶

○ダルライザー 和知健明様



皆様、こんにちは。大変お世話になっております。ダルライザープランニングの和知健明です。皆様には映画を作る際に、一番最初にお話しさせていただいた3年半くらい前の時に協賛のお願いに来て以来です。その時にご協賛いただいたおかげで映画を完成させることができました。今日はDVDが出来上がったのでそのお届けと、あと報告をさせていただこうと思って来させていただきました。どうぞよろしく願いいたします。2015年の4月から始動しましたこの企画が、ようやく実を結んで映画公開をできましたのが2017年の7月29日からでした。7月29日から、信金さんの新自信ビルで20日間公開をさせてもらって、正直PRさせていただく時も白河市のPRのためにダルライザーを題材にするので、もうちょっと子供たちとかも来てくれて、すごく出だしは行けるんじゃないかと思っていたんですけど、いざ蓋を開けると平日は1日最大3人としか入らなくてですね、例え白河市を題材にしてあったとしても、見やすいヒーローものだとしても厳しいんだなというところを感じながらスタートしたんですが、お盆明けぐらいから見てくださった方が非常に良い映画だったと言っていただきまして、そこからの伸びがすごくて1日4回上映してたんですけども、1回に80人から100人、最終日は200名入りました。最終的に20日間で3382名の方に見ていただいて、そのおかげでインターネットで話題になりまして、東京の映画館、池袋のシネマロサという所から声をかけていただいて東京上映を実現いたしました。一番最初に作った映画が145分という長尺だったもので、その勢いで広がっていくかなと思ったのですが、今度は時間の問題がありまして、映画館としてはオープン時間からクローズまでの間で何回かけられるかというところで映画の長さがネックになりまして、作品を紹介して営業をかけると面白いねとは言ってくれるのですが、上映時間を話すといや長いから無理だなということで断られ続けまして、今度は短く編集して2時間以内に編集したものを上映しようということで、これも簡単に縮めることできるかなと思ったんですけども、思った以上に伝えたいことを残したまま編集するというのが難しく、編集

するだけで半年かかりました。ぼんと閃いたことによって一気に縮んだんですけど、それが思い浮かぶまでは頭の中が追いつかないくらいのスピードになってしまっていて、映画も発明と一緒にだとは凄く痛感したんですけども、その際にまたクラウドファンディングということで一般の方からインターネットを通して協賛を募りまして、今年の3月から全国に宣伝をして全国10か所で上映というものをやらせてもらったんですけども、やってくれる劇場さんは白河だともうなくなっちゃいましたけど、いわゆる白劇のようなああゆう感じの所で、まだ長く続けてらっしゃるような劇場さんで、なかなか今風のシネコンというような華やかな場所じゃなかったものでなかなか集客も厳しくて、結構映画産業自体は大変だなどは思っていたんですけども、ざっくりと皆様にご協賛様なので報告させていただくと、大体今までに3,300万円ほどかかってまして売り上げ自体は1,000万円位、このような感じになっております。こちら11月8日から全国のツタヤさんでレンタルが始まります。あとゲオとかアイチューンズとかゲーグルプレイとかスマホでも配信というものが始まりますので、今度はこちらでできるだけ白河市を知っていただけるようにPRしていきたいと思っております。こちら皆様にご協賛いただきました返礼品としましてDVDをお持ちさせていただきましたので、もしよかったら回して見ていただいても結構ですし、もしご購入いただけるようでしたらそちらで買っていただいても大変ありがたいと思っております。

■委員会報告

○親睦委員会

大竹憂子委員

・誕生日

横田俊郎会員

車田裕介会員

・結婚記念日

遠藤敦会員

安部和夫会員

運天直人会員

兼子聡会員

山田顕一郎会員

須藤正樹会員



○雑誌広報委員会

安部和夫委員長



こんにちは。「ロータリーの友」11月号の見どころということで、私委員長の安部から述べさせていただきたいと思っております。今月はロータリー財団月間ということで、まず左ページの3ページですかね。

「ロータリー財団 世界で良いことをする」ということになっておりますが、その次のページですけども世界の地図が広がっておりまして、日本の寄付が8,446万ドル位です

が、これはほかの韓国なんかは7,824万ドルということでほとんど日本と変わらないということで、一人当たりで換算するとかなり日本の寄付金が少ないということです。なるべく寄付を出していただいで私共は貢献したいというふうに思っております。それから19ページに、「揺るぎない友情」ということで第15回ロータリー日韓親善会議ということで、こういう時代だからこそちょっと日韓のほうでぎくしゃくしておりますが、こういう時だからこそ改めてロータリーが橋渡し役として友情の輪を広げるということで、いろんなイベントの紹介がされております。各々後で目を通していただきたいと思っております。それから、30ページに写真で綴る100年ということで、日本のロータリー、その当時は70区ということなんですが、日本全体で70区ということで割り当てられて、1929年に地区大会の写真が載っております。京都でやったそうですが400人くらいのお出席者ということで、なんかこじんまりした地区大会だったわけですが、写真の中で真ん中のほうのテーブルで立ってモーニング姿でおられるのが米山梅吉さんでございます。その時、ガバナーで再任されたばかりの時の地区大会だそうです。この服装を見ますと、なんかすごい正装でお相撲の行司さんみたいな格好してる人がいっぱいいるので、この当時の正装はこういう形なのかなと思って改めて面白い写真だと思ってご紹介したいと思います。それから、その隣にパズルでロータリーということで、上のほうで数字が出ておまして、これを私たまたま時間があつたものですから、ここでやってみたら結構頭の体操ですごく面白いんです。ロータリアンでなくてもご家族でも楽しめますので、皆様にご活用いただければと思います。それから縦ページの4ページに「ポリオ根絶に向けて我がクラブの先輩」ということで、その麹町ロータリークラブというのがポリオの国際的なプログラムになる先駆けになったという紹介記事であります。その麹町の先輩である山田さんと峰さん、そのお二人が先駆けてインドに行って私財を投げうって自分みずからワクチン投与をやったということで、それが国際ロータリーのポリオ撲滅の運動の先駆けになったという記事でございます。後でお目を通していただきたいと思っております。

■本日のプログラム

ロータリー財団委員会

○金田昇委員長



皆さん、こんにちは。今月は、ロータリー財団委員会担当ということなので、財団の強化月間というふうなことで財団について少し話したいなというふうに思っているのですが、財団の仕組みとかやるべきことということに関して、自分なりにちょっと思っていることをお話しさせていただきたいと思

います。ですから、委員会の委員長としての話というよりは、ロータリアンとしての財団に対する考え方とか奉仕活動についてのことでちょっとお話をさせていただきたいと思っておりますので、一応スライドを作ってきましたので見ていただければよろしいかなと思っております。スライドの読み上げみたいな形になっちゃいますので、ご覧になっていただけたらと思います。それでロータリークラブって何だというようなことと、あと社会奉仕、国際奉仕というものが大切だということの一つの例としまして、先日、緒方貞子さんがお亡くなりになりました。元国連の高等弁務官であり、ロータリー国際親善奨学生の方ということが皆さんご存じの通りだと思っております。非常に国際貢献なさられて、日本の外国に奉仕する活動の先駆的なことをされました。緒方貞子さんは、日本人交換奨学生といわれました。彼女のお話の中に超我の奉仕というロータリーのモットーに深い感銘を受け、以来これが私の人生の指針となってきましたと仰っております。それから、その中で彼女が思い描いていたことの中に、下のほうにあるんですが、私たちは急速に変化する世界にきています。世界がこれまでにない複雑な脅威にさらされている中で、市民社会や人々の繋がりがこれまで以上に重要性を増しています。ということ仰られておりました。このような方を輩出したロータリーの精神、またロータリーの役割というのは大きいなということ改めて感じさせられました。緒方さんのご冥福をお祈りしたいと思います。ロータリーって何をすべきなのかということで、ちょっと考えてみます。ロータリークラブの入会の目的とか目標とか、何故入ったのかということの中に親睦とかいろいろな職業奉仕だとかいろいろありますけれども、その中に大きな柱として国際奉仕というふうなことがあるのかなと思っております。「ロータリーの友」の中に必ず書いてある記事がこれですね。ロータリーの目的というのが、必ず毎月毎月書いてある記事なんです。これを忘れるとロータリーとしてあり得ないということで、もう一度復唱させてもらいますと、ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むことである。4つあるんですけれども、知り合いを広めることによって奉仕の機会とする。職業とか親睦とかいうことだと思っております。2つ目は、職業上の高い倫理基準を

保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。仕事に対する考え方ですね。3番目に、ロータリアン一人一人が、個人として、また事業及び社会生活において、日々、奉仕の理念を実践することということがあります。4つ目に、奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。これこそロータリークラブのインターナショナルな活動の根源ではないかなと思っております。国際ロータリーの基本のホームページの中に、参加しようという呼びかけがあります。地元の町や世界をより良くしたい人であるロータリーの世界120万人の会員は、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために人々が手を取り合って行動をする世界を目指していますということなんです。私たちがクラブの中で58名いるんですけど、この120万分の58という感覚を忘れないでほしいなというふうに思っております。財団の話となります。私たちが世界の奉仕活動をするために何をするかということになると、まずやるべきことできることとなりますと財政的な寄付活動ということでありまして、私、常々思ってるんですけども、いろんな寄付行為ってあると思うんですね。ユニセフとか赤十字とか、いろんな発展途上国に対する支援活動とかいろいろあるんですけども、果たして私たちが寄付したお金がどのように使われて、どのくらい現地に行っただう役立ってるかというのはなかなかわからないと思うんですね。ユニセフで今日もユニセフからなんか寄付の案内が自宅に届いてました。それに毎日100円、1か月3,000円、年間36,000円やれば子供がこのくらい助かりますよと言いますが、果たして私たちの寄付したお金が本当にそこにどのくらい行ってるのかというのははっきりわからないんですけど、ロータリーが財団を通して寄付したお金の使い方というのは非常に明確になっております。ここが一つのポイントだと思いますね。それと同時に、財団で寄付したお金がどのように使うかということをチェックすると同時に、自分たちがこういう事をしたい、こういうふうな奉仕活動をしたいので、そのお金を使わせてくれということができるといふ団体であるということをもう一度認識してほしいという思いを持っております。簡単に青枠のところだけお話させていただきますと、ロータリー財団は寄付を受け取り、ロータリークラブや地域の人道的及び教育的活動でロータリー財団が承認したことに補助金を提供する非営利法人と定義されていますということです。これはもう基礎中の基礎ですね。それから、ロータリー財団の使命。何をしなくちゃいけないかということ、ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成することが、ロータリー財団の非営利組織であるためにこれが可能であるということでありまして、それでは、ど



のように寄付をしていくのだということの中でロータリー財団のもう知ってる方もいらっしゃるし、なかなかこういうロータリー財団の寄付とか仕組みについてわからない方がいらっしゃると思いますので、少し説明させていただきますと、寄付の形が3つほどありまして、年次基金。毎年、続けて奉仕するための基金として使うこと。それから、恒久基金。これは基本的財産として元金を使わず、その運用益のほうを使って奉仕活動をするというのですね。それから、使途指定寄付。俗に先程ちょっと「ロータリーの友」にもありましたけど、ポリオプラスなど、ポリオプラスのために寄付しますよというような寄付の仕方があります。当クラブではなかなかないんですけど、ほかのクラブでポリオのための募金箱というのを置いて、例会時にそこに500円とか1,000円とか2,000円とかを入れてくクラブもあります。これは使途を指定する寄付であります。私たちが俗に言っているロータリー財団の、先程会長から言った30万、3人で1,000ドルづつというのは年次基金のほうに入りますので、その3つがあります。そのほかとして、個人でロータリーカードを使っていただいたり、ダイナースクラブカードを使ったりすると、その利用金額の何パーセントという形で自動的に財団に寄付されるという仕組みもあります。是非、ロータリーカードを作ってみたいという方がいらっしゃれば、そういう形の貢献ということでもできます。ただ、このことに関しましては使途がどうなっている、使い道がどうなるということがなかなかチェックできないところになりますので、上の年次基金とか使途指定寄付なんていうのが直接的に目標を持ってできるのかなと思います。それから、ロータリー財団の活動方針というのがありまして、これは先程ちょっと話したようなことなんですけども、地区財団活動資金の活用は地区でもクラブでも常に公平透明かつ高潔性を持って使えるということで、クラブでも使えますよというふうなお話です。目標としてこの4つ5つほどのものがあるんですけども、読ませていただきますと継続的な寄付を通じてロータリー独自のかつ唯一の慈善事業を支援することができます。それから、持続可能な教育的、人道的なプロジェクトに参加することで、新しいプロジェクトの発展を確かなものとする。ロータリー平和センタープログラムとの推進と広報を通じて世界理解、親善平和を育む。ポリオを撲滅する。それから、ロータリー財団の未来のためにロータリアン一人一人が自覚しようということがロータリー財団がやっている活動であります。私達も地区の財団へ行くとこんなふうなことを勉強しろということで啓蒙されて帰ってきます。それから、地区として地区の財団として10項目くらいの目標を持ってやっております。特に大事なものは、やっぱり必ず寄付したのを使ってくださいというようなお話をされます。今週末にまた財団のセミナーがあるんですけども、是非クラブで使ってくださいという話です。後程、金額的なもの

も出てくるんですけども是非活動に活用してくれというふうなことです。財団活動についてももう少し掘り下げますと、財団の活動というのは大きく分けると2つ。寄付を集めるほう、それから使うほうという2つになります。ひとつお金を集めるほうは寄付といってお金を集めますということで、先程重複しますが、年次基金、恒久基金とか、使途指定基金ということで、それを財団あとはクラブの財団委員会を使いますよということですね。それから、これは集めてくださいということですね。それから、寄付を使うほうに関しては、地区の補助金として使うこと。それから、グローバル補助金として使うこと。これを各クラブの奉仕活動とか国際奉仕活動とかいろいろなものに使ってくださいということが2つの柱ですね。集めることと使うことということなんですけども、両方もいろんな目標を掲げさせていただいております。寄付を集めるほうに関してなんですけども、我がクラブでは先ほども言ったようにドナーを集めて、一人1,000ドル3名というのがうちのクラブの目標でありまして、3名以上にしましょうねということで3名集めました。決して会長が言ったようにこれで終わったわけではありませんので、今年度中に5名とか6名とか7名とかいうことで、是非ご寄付いただいてもう少し寄付額を上げていきたいなというふうに思っております。それと同時に、会員全体で薄く広く集めてということで、会費の中から一人当たり5千円づつ寄付をさせていただいて、それを多年度に渡って例えば10年続ければ5万円の寄付になりますし、20年続ければ10万円の寄付になるということで、途中で例えば5万円貯まったから自分であと5万円くらいプラスして、1,000ドルという寄付をしたいというのであればそれでも結構ですということです。ですから、クラブで薄く広く集めるということを今年度から始めましたのでご理解いただければというふうに思います。それから、これは今日私が話したいことの大きな柱なんですけども、寄付金を使う活動。これを是非やってもらいたいと思います。例えば、今年50万円寄付しましたとなると、一回財団のほうに行くんですけど3年後に半分、50万円の半分25万円が地区に戻ってきます。ですから、その25万円を原資としてクラブでいろいろなことに使えますよということなんです。それで、そのうちの25万円分のうちの12万5千円分に関しては、地域内で国内でのいろいろな奉仕活動に使えますということですね。それとあと12万5千円分ですね。四分の一に関してはグローバル補助金ですので、国際奉仕のために使ってくださいというふうなお金です。これも限度額があるんですけども、一応是非それを使いながら自分たちが出したお金の半分自分たちのクラブで自分たちのやりたいことで使えるということで認識してもらいたいと思います。それに関して、西クラブはなかなか今までそういうのに積極的でなかったんです。寄付するほ

うもそこそこ寄付はしてるんですけど、それを使って事業をしようとか奉仕活動しようということに対して、非常に消極的とまでいかないんですけどなかなか活用してなくて、今年度はまだ使えていませんというか使えませんでした。というのは、例えば来年度吉野年度で使いたいと思えば、来年の2020年の3月までに申請しなくちゃならないので、4月、吉野年度が始まってから申請しようとしてももう無理なんですね。ですから、もう大体次年度くらいでは35周年あるからこんなことやりたいねというふうな事業計画とか、委員長の中で委員会、クラブのメンバーの中でこんな活動をしたらいんじゃないかというアイデアがあったら、どんどんそれをちゃんと企画として上げて予算を作り申請をしないとしないということになりますので。決して貰った寄付が活動資金を貰っただけで使えるわけじゃないんですね。例えば、50万円の事業をやる時に、じゃあ50万円分やるかというところではないので、良くて20万25万位かなと思います。ただ、事業を奉仕活動を行うきっかけにはなると思うんですね。ですから、是非そういうものを使うということをお口に、事業を奉仕活動をやってもらいたいというふうに思っております。そこのところ西クラブは少し若干弱いのかなと思いますので、35周年を契機に何かそういうふうな活動をしていただけたらと思います。以前には、結構やりました。交換留学生を受け入れをやったり、それから那須甲子少年自然の家に行って源流の里作りという森作りですね。阿武隈川の源流の森作りというように、林さんが一生懸命やってくれたということもあるんですけど、その他いろんな事業をやってそこにいろんな予算を付けて事業をやってたんですが、最近ちょっと少ないなというのがありますので、これからの少し長いスパンで事業を計画しながら、せっかく出したお金が少し戻ってきたら、それをきっかけとしてやってほしいなというふうに思っています。また、この後は地区資金の補助金の申請の仕方とか、そういうふうなことなので詳しくはまた私も含めて財団の勉強をしたり、こういう申請できますよということやいろんなノウハウを含めて蓄積しておきますので、わからないことがあったら聞いていただいて私の答えられないことは地区の委員長とかいろいろなところでお話をしながら、せっかく自分たちの浄財を活用していろんな事業を行いたいと思います。これが財団資金の仕組みということで3年後に戻ってきますというようなことですので、積極的に使っていただきたいなというふうに思います。あとはこれは地区の申請の仕方とか、一応まとめておいたのですが、その辺は先ほども言ったように聞いていただければ答えられるように勉強しておきます。それで最後になりますけれども、私もロータリークラブに入ってもう長く25年もあるわけですが、これといった活動、奉仕活動

もやってなかったもので、これから少し一生懸命やろうかなというふうに思っています。今日、バッチを付けてきたんですけども、これはロータリーのドナーとして提供した分に関して、2回提供したのでバッチいただきました。メジャードナーとして100万円ですか、100万円ですから10回分くらいやりますとメジャードナーというような名誉が得られます。別にこのバッチが欲しくてやったわけではないんですけども、こういうことで少しでも貢献できたのかなということを感じられるようにバッチを付けてきました。皆さんがこういうバッチを付けている方が沢山生まれることを願っております。何よりもいろんな奉仕活動あると思うんですけども、ロータリーを通してロータリーがあるからこそ奉仕活動できるなというふうに思います。僕ももしロータリークラブに入らなかったとしたら、何かちょっとお金をどこかに寄付したいと思っても寄付する先がわからない。ですから、そういうどこに寄付するかわからないことのないように、ロータリークラブに入るとどんどんいろいろなところで寄付するチャンス、社会奉仕をやるチャンスを与えていただけるロータリークラブって素晴らしいなと思っています。そういう意味では、簡単にできることであればやっぱり財団に寄付をし、それを使うということだと思いますので、皆さんも何か感じていただけたら、是非今年は3名だけではなく5名でも6名でもこれからまだまだ募集してますので、是非お願いしたいなと思います。つたない話なんですけども、これで2回目のロータリー財団委員長やりました。3回目4回目は若い人たちにもっと勉強して、次の世代にこの財団を支える力になってきたいなと思いますので、来年の吉野会長がどういう方を委員長に選んで、財団としても財団活動にもしっかり貢献できるロータリークラブになってくれることを期待しまして卓話とします。つたない話ですけども、お付き合いいただきましてありがとうございました。

○中目公英会長

ロータリー財団委員長の金田昇さん、大変卓話ありがとうございました。吉野エレクト年度は3年前ですから、成井パスト会長時代の財団寄付が元ですので、吉野エレクトは成井さんによくお礼を言って地区財団補助金の獲得を目指してください。その年、30万円だとすると先程の金田さんから話があったとおりシェアシステムで3年前の四分の一ですから5万円しか貰えないのですが、実は今年の地区の芳賀裕ガバナー、それから来年の石黒ガバナーはその四分の一以上出すというふうに公言していますから、うまくいくと10万弱くらい来年貰えるかもしれません。是非、頑張って補助金の獲得をお願いいたします。それでは、今日の例会を閉じさせていただきます。皆さん、ありがとうございました。